

平成24年度 ケアグレードアップセミナープログラム(第1回)

テーマ『現場の「介護力」を高めるリーダーのための「介護のポイント[理論と技術]を学ぼう』

とき:平成24年10月31日(水)～11月2日(金) ところ:札幌市 定山溪万世閣ホテルミリオナー

【10/31(水)】[リーダー自身が学び、伝える「介護力」]

時間	学びのテーマ	方法	学びのポイントとキーワード	講師	備考
12:30 ~ 13:00 13:00 ~ 13:15	受付 ・開講式 ・主催者(塾長)挨拶 ・オリエンテーション				
13:15 ~ 14:15	生活動作介護の考え方	講義	リハビリテーションは機能訓練のことではない、介護者の関わり次第で対象者の生活能力が引き出されることを学ぶ。また、老年期における認知障害の特性を理解した上で生活動作への関わり方を理解する。	北都保健福祉専門学校 作業療法学科 学科長 大堀具視 氏	
14:20 ~ 16:20	対象者の潜在能力をどのように理解し引き出すか？	講義・グループ演習	実際の介護場面の映像などから、対象者の持つ潜在能力を把握するには介護者がどのような視点を持ち、その上でどう介護実践していくべきなのか、その解釈と実践能力を身に付ける。		
16:30 ~ 18:30	身体・動きの仕組みについて知る	講義・グループ演習	基本的な解剖学、生理学を通じて、動くための普遍の原則を知り、原則を踏まえ関わることが対象者の能力を引き出すことに繋がることを演習を交えて身体で理解する。		
18:40 ~ 20:40	ネットワーキング(交流会)				

【11/1(木)】[リーダー自身が学び、伝える「介護力」]

時間	学びのテーマ	方法	学びのポイントとキーワード	講師	備考
9:00 ~ 12:00	基本動作に対する効果的介入方法を学ぶ	講義・グループ演習	対象者の能力を引き出す介護実践について演習をとおして学ぶ。寝たきり者をどのように起き上がらせるのか？座る姿勢が不安定な利用者への介助をどうするか？食事をむせやすい利用者の座る姿勢と適切な介護について。持ち上げないトランスファーの実践が対象者の生活にとっていかに大切か、「立つ」から「歩く」へ結びつく介護のポイントは何か、歩くのが不安定な利用者への適切な介助のポイントについて。筋トレや体操に頼らない転倒予防の方法について等々。明日からの介護実践に即活かせる介護実践能力を身に付けます。	北都保健福祉専門学校 作業療法学科 学科長 大堀具視 氏	
12:10 ~ 13:10	昼食				
13:10 ~ 16:10	ADLへの効果的な介入方法を学ぶ	講義・グループ演習	排泄・更衣・食事・入浴・整容など効果的な介入のポイントについて演習をとおして学ぶ。また、褥瘡予防のための体位交換の考え方や方法、エアマットの導入について検討する。		
16:20 ~ 18:20	実践事例紹介と討論		発表者の実践事例から、それぞれの施設での取り組みとの違いを知り、学べる点については共有を図り、改善の余地がありそうな点について検討する。		
18:30 ~	夕食(バイキング)				

【11/2(金)】

時間	学びのテーマ	方法	学びのポイントとキーワード	講師	備考
9:00 ~ 9:50	研修をとおして何を伝え、どう実践するか？	グループ演習	今回の研修を施設にどう持ち帰り、活かしていくのか？その手段を含めてディスカッションし発表する。	北都保健福祉専門学校 作業療法学科 学科長 大堀具視 氏	
10:00 ~ 12:00	演習発表				
12:00 ~ 12:30	講評		前プログラムでの発表と、3日間の取組についての講評		
12:30 ~ 13:00	閉講式				

平成24年度 ケアグレードアップセミナープログラム（第2回）

テーマ①『現場のケアを向上させ、運営を確かなものにするグレードアップケアプログラムを学ぼう』

テーマ②『介護現場のリーダーのためのリーダーシップの技を学ぼう』

とき：平成24年11月20日（火）～22日（木） ところ：札幌市 定山溪万世閣ホテルミリオーネ

【11/20（火）】『現場のケアを向上させ、運営を確かなものにするグレードアップケアプログラムを学ぼう』

時間	学びのテーマ	方法	学びのポイントとキーワード	講師	備考
12:30 ~ 13:00 13:00 ~ 13:15	受付 ・開講式 ・主催者挨拶 ・オリエンテーション				
13:15 ~ 14:15	ネットワーキングⅠ（仲間づくり）	グループ演習	自己紹介	NPO法人全国高齢者 ケア研究会 研究委員長 泉田 照雄氏	
14:20 ~ 15:50	ケアと運営上の課題整理と共有	グループ演習	ケア（食事ケア、排泄ケア、認知症ケア等）と運営（スタッフ育成、離職防止等）の両面から、自施設の課題を話し合い、今後の「ケアと運営」を安定・向上を図るための優先課題を共有する。		
16:10 ~ 17:30	日本の高齢者介護の現状と未来 ～二極化する介護現場と新しいケア＝トータルケアの必要性	講義	近年、高齢者介護の状況は大きく変わってきている。全国には稼働率ほぼ100%、下剤の画一的投与ゼロ、4年間離職者ゼロ、一年目から5連休とれる職場などがある一方、稼働率90%、離職率20%、年休取得ほぼゼロなどの職場がある。この二極化を生んでいる原因を考え、利用者・職員・組織の満足度の高めるための新しいケアの必要性を学ぶ。		
17:30 ~ 18:00	振り返りⅠ	グループ演習	グループ毎に今日一日の「気づき・学び」を話し合う。		
18:10 ~ 20:10	ネットワーキングⅡ（交流会）		1日目の感想（参加者全員 1分間スピーチ）		

【11/21（水）】『現場のケアを向上させ、運営を確かなものにするグレードアップケアプログラムを学ぼう』

時間	学びのテーマ	方法	学びのポイントとキーワード	講師	備考
9:00 ~ 12:00	現場のケアを向上させるための記録「総合個別ケース記録」と「申し送りシート」	講義	これまでのケアチェックシートと総合個別ケース記録のちがいを学ぶ ・記録をケアの生かすための方法・仕組み ・記録ダブルチェックと週間ケア会議とリーダーの役割	NPO法人全国高齢者 ケア研究会 研究委員長 泉田 照雄氏	
	現場のケアを向上させる「スタッフ会議（ユニット会議）」の行い方	講義	全講で学んだ記録シートと「スタッフ会議（ユニット会議）」は、ケアについて情報共有するための必須シート。シートの開設と現場での使い方を学ぶ。		
12:00 ~ 13:00	昼食				
13:00 ~ 15:45	現場のケアを向上させる「申し送り」のやり方	講義	毎朝の申し送りは、施設のケアレベルがダイレクトに反映される。単なる「情報共有の場」から「重度化に対応したケアの質向上の場」の申し送りの方法を学ぶ。	北海道老人福祉施設協議会 研修委員会 委員長 波湯 幸敏 泉田 照雄氏 波湯 幸敏	
	新人職員を離職防止に有効なスタッフ育成法「エルダー制」	講義	施設運営の安定化を図るための最低条件は、「新人が辞めない職場」をつくること。新人育成に効果的な「エルダー制」の意義と導入方法を学ぶ。		
16:00 ~ 17:00	グレードアップケアの導入事例と効果	実践報告	運営を安定させ、職員を定着させ、ケアをレベルアップさせ、重度化に対応できるグレードアップケア。いち早く取り入れた先進施設の成功事例を紹介。		
17:00 ~ 18:00	振り返りⅡ どのように実践できるか？		今回の研修を施設にどう持ち帰り、活かしていくのか？その手段を含めてディスカッションし発表する。		
18:00 ~	夕食（バイキング）				

【11/22（木）】『こんなリーダーの下で働きたい（今の介護現場に求められるリーダー像と技を学ぼう）』

時間	学びのテーマ	方法	学びのポイントとキーワード	講師	備考
9:00 ~ 10:30	チームを上手にまとめることができるようになるリーダーシップ技術	講義・演習	施設でリーダーを任せられ、うまくできるか不安や悩みを抱えているリーダーは少なくない。チームをうまくまとめ、やる気を出させ、チームのケアレベルを向上させるのは、そう簡単ではないが、任された以上、やり遂げなければならない。介護現場の特性を理解した上で、チームを上手にまとめる基本姿勢と方法を学ぶ。	NPO法人全国高齢者 ケア研究会 研究委員長 泉田 照雄氏	
10:40 ~ 12:00	モチベーションアップに効果的なリーダーの自己管理（感情・思考）方法	講義・演習	リーダーの自立・自律を目指す上で、特に精神面、思考・脳面に焦点を当て、その安定・向上を図るための方法を習得する。 ・なぜセルフマネジメント【自己操縦】が必要か ・心と脳の健康管理 ・脳（心）のコントロールの重要性 ・メンタルチェック ・脳（心）のコントロールのポイント ・自責の念が成長を加速させる		
12:00 ~ 12:30	閉講式				